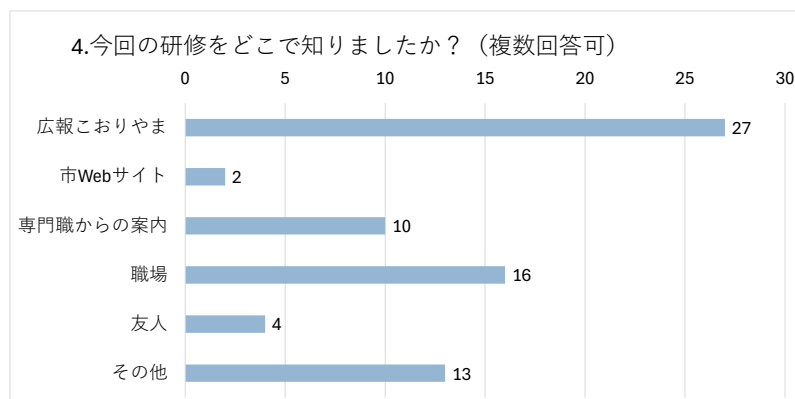
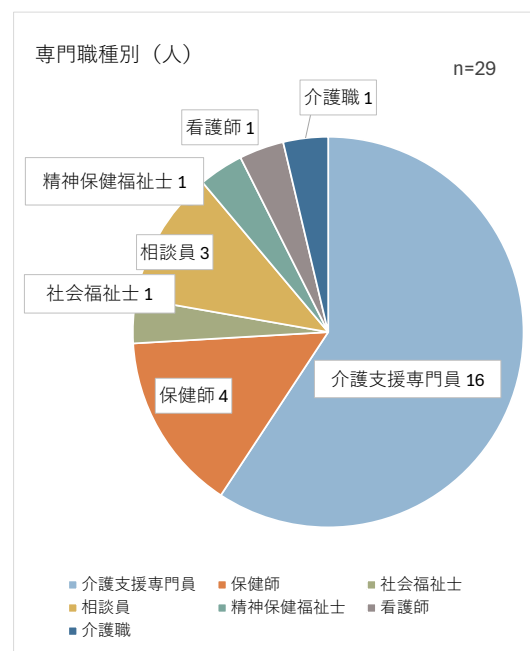
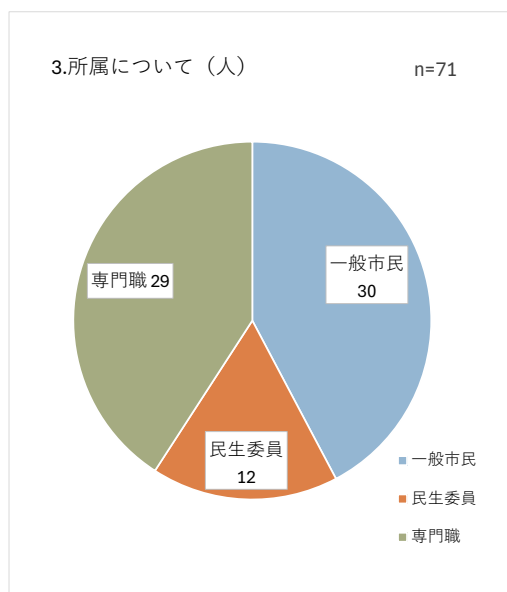
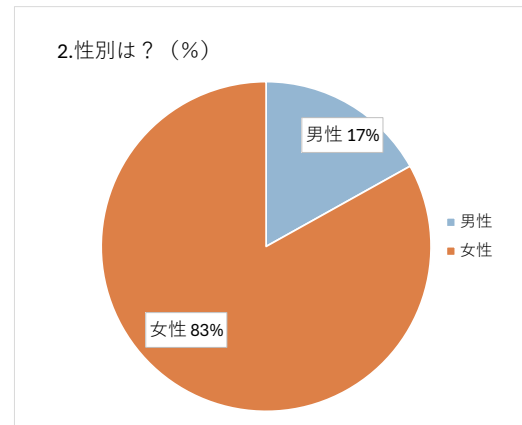
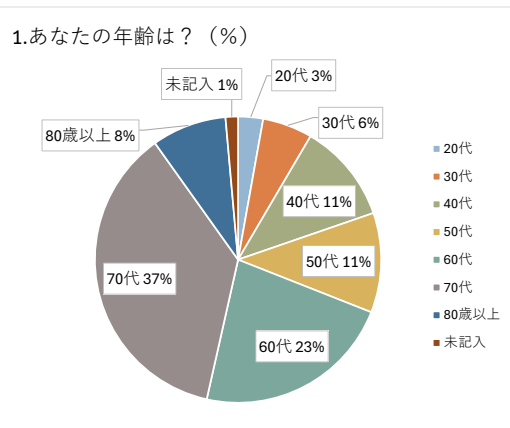


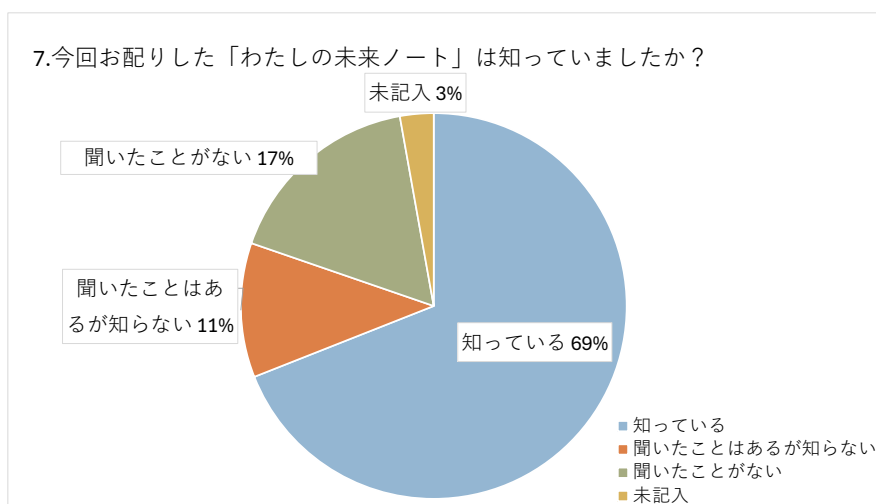
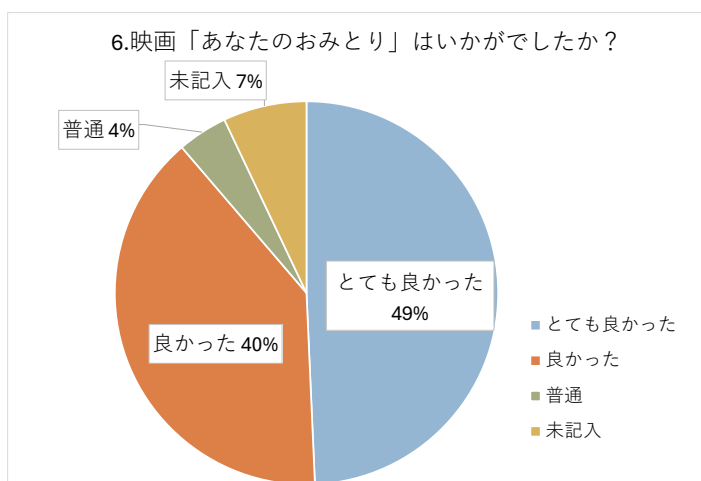
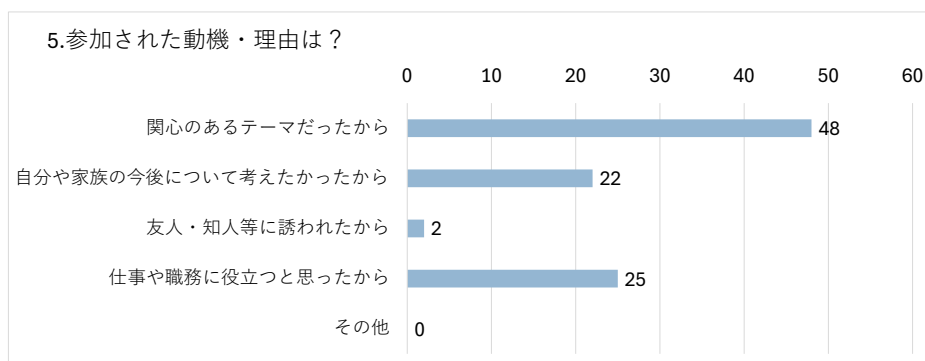
令和7年度医療と介護の連携に関する研修会（R7.10.6）午前の部

参加者 80名
アンケート回答者 71名
アンケート回収率 89 %



【自由記載】

- ・図書館でチラシを見た
- ・メール（2）
- ・民協定例会にて（5）
- ・市からのメール（2）
- ・チラシ
- ・嫁



【自由記載】

・先週白河市にはあるということを聞いていて、郡山市にはないのかなと思っていたところでした。

8.今後、「医療と介護の連携に関する研修会」でやってほしいテーマがございましたら、ご記入ください。
→別紙参照

問6.映画「あなたのおみとりはいかがでしたか？」理由・感想一覧

・ 本人の前で奥さんやスタッフが昔話をしているのを本人も聞いているのがよかった。
・ 在宅で看取するということが参加者は分かったと思う。私も義父を在宅介護で看取った。この映画のように在宅医療、訪看、ヘルパー、家族の介護がないと難しい。そういう体制づくりをしていきたい。
・ 映画というよりドキュメントビデオでびっくりしました。家庭で看取るのも限界があることを知りました。近所の協力もなくてはならないですね。私がもしこの状態だったら、こんな風に対応できるか？疑問ですね。
・ 人生について考えさせられた。母親の最期を看取る心の準備ができた。
・ 在宅医療の重要性(チームケア)を改めて学ぶことができた。
・ 寄り添った支援ができていた。
・ 大変良かった。
・ 看取りをするということを改めて考えさせられた。自分事として考える必要があると感じた。
・ 在宅で看取られたことは幸せだったかなと思いました。
・ 奥さんの言葉がよく聞き取れなくて、ちゃんと理解できなかった。
・ 家族の在り方が見えた。サービスの入り方が妻の支えともなっていたと思う。
・ 亡くなった家族を思い出し、とても悲しかった。リアルすぎて見ない方がよかったかも…でも参考になることもありました。
・ 自分が看取りになった時の想像ができた。在宅医療では様々な人、様々な職種の方との関わりがあるのだと再認識した。人間一人一人それぞれの思い、未来があるんですね。
・ 共働中ではあまり仲はよくなかったと言っておりましたが最後は妻が介護をされていて思いやりを感じました。
・ 自分の終活を尚更考える時間になりました。
・ 映画として???する覚悟は大変だったと思う。参考になった。
・ 専門職からの見方とは違った方向から在宅看取りを考えさせられた。
・ ドキュメントなのでよくここまで映像化してくれて、ご家族に大変お礼申し上げます。現在自宅で主人を介護中。83歳、主人は85歳。
・ 在宅看取りの現場を知っていただきたい機会になったと思います。
・ リアルな状況をみられてとても参考になりました。家族の気持ちなど痛いくらいに伝わってきました。
・ とても貴重な実話をありがとうございました。
・ 老々介護で大変ではあるが、理想的な最期である意味恵まれた環境に思われました。
・ 在宅介護のリアル、看取りが丁寧に描かれていたと思います。たくさんの方に見ていただいてACPを進めていければと思います。
・ フィクションでないのが説得力のあるものでした。貴重な経験をさせてもらいました。
・ 人それぞれの看取りがあるし、私も考えようかと思った。
・ 本人や家族の気持ちに沿った介護、医療の連携のすばらしさを感じた。未来ノートを活用してみたい。現在自分の置き換えると無理と感じた。
・ 死後散骨という選択もあるのだと知った。今後ACPを考えるにあたりどのような選択肢があるのか知りたいと思った。
・ サービス調整する仕事でもあり、自分にも家族がいて介護する側にもなるため、在宅の実際を見てとてもよかったです。
・ ありのままに丁寧に作られていて温かい気持ちで見ることができた。
・ リアルで生の声が聞ける機会はここではない。私たちがみているのは切り取った一部。その方、家族の人生に関わらせていただくことにとても重責を感じた。
・ 看取りの実際を知ることができた。今後在宅での看取りが増えるため、今回の映画を一つの参考にした。
・ とても辛いものですがこれからのことについて考えさせられました。自分がどのようにすればいいか。家族と話し合いたい。
・ 両親を自宅で看ていた頃を思い出しました。2人ともにがんが末期で見つかり辛い日々でした。看病の日々をノートしておりました。映像で残す息子さんの気持ち…涙、涙…
・ 介護は大変だなあと感じました。上映会に来てよかったです。
・ 介護の仕事は大変と痛感。
・ 映画(作られた)の上映会と思っていたのですが、ドキュメンタリーで驚きました。はじめは会話の言葉がよく聞き取れませんでした。途中から耳に入ってきて内容がわかるようになり、感動しました。
・ 散骨まで見せてくれて参考になりました。
・ 自然な在宅での介護の姿が映っていました。身近で知らない方への知るいい機会になると思います。映像提供者に感謝です。
・ 家族(夫・息子)と看取りについて話し合おうと思いました。とても感動しました。
・ 一年前に主人を亡くしたばかりだったので、思い出してしまいました。
・ 現在見守りの夫がいるため、とても参考になりました。
・ これからの仕事で活かしていきたい。ケアマネとして入居者様に対して以降・ニーズをきちんと聞き取りして、支援につなげていきたいと思った。
・ 私も来年は後期高齢者となります。主人は80歳、いろいろと考えさせられ、参考になりました。近年男性の方が数名亡くなっており、自分の身となって考えさせられました。
・ この映画のお父さんが私の父に似ていて72歳で死亡(今生きていたら96歳)死ぬ間際のあの呼吸とか、紫色とかむくみか思い出されて涙がウルウルでした・私も72歳になって父の死亡と同じ年齢になり現在は夫と二人暮らしです。この映画のお母さんのような介護ができるかちょっと不安です。喧嘩ばかりしている夫婦です。
・ 住み慣れたところで一日でも長く生きられるのは素晴らしいことです。特に家族に看取られることができるって素晴らしいですね。
・ 最近義母が亡くなり、一晩の初ショートステイ先でのことでした。それまでは家で看ることができたことがよかったと思いますが、最後の時は自宅で看たかったと思いました。
・ 看取りについてなかなかタブーとされるようなこともこのような上映会があると皆さんに知ってもらえるので良いと思った。
・ 在宅介護は大変ですね。24Hですから。私は仕事としてやっているのでも割り切って出来てますけど頭が下がります。奥様はえらいですね。
・ 奥様の歌を聴きながら人生の最後を終えたこと。そして家族愛がすごいと思った。
・ 子供の頃の看取りを思い出しました。部落での協力がありました。家族だけの看取り大変と感じましたがとても参考になりました。高齢となり色々考えさせられました。ありがとうございました。
・ 私も経験したので、死まで大変さがわかりました。骨を散骨したのにはびっくり。
・ 妻の決断と周りの支援、家族の理解など多くの問題があると思います。本人の意志を大切に行動できたことはよかった。
・ 最後の散骨が終わり「お父さんさようなら」と言われた時の表情がやり切った感があつた。施設での看取り、自分の家族の体験からそうならないと思う。もっといろいろなことを勉強し、ご家族に悔いが残らない看取り対応をしていきたい。

問8.今後の研修会のテーマ

・ 今回の上映はとてもよかった。
・ 施設での看取り
・ 今回のような映画または病気にならないようにはどのようなことに気を付ければいいのか。（現実になってみて初めて気が付いた）
・ 患者が医療関係者に思っていることを言えるようになるにはどうしたらよいかなど。
・ 今日のような研修はとても効果的だと思うので、映像を利用した内容がいいと思います。
・ 未来ノートの書き方を知りたい。
・ シェアハウスの運営について
・ ここまで見せていただけたことに、今日見れてよかったでした。お墓のこととかお葬式のこととか相続のこととか知りたいこといっぱいです。
・ 看取り前の人生会議の様子も見れるとうれしいです。
・ 知らないこと多々あり、今後もぜひやってほしいです。
・ ご苦労様です。